

スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール クロストレーニングプログラム【工商連携学習】 研究報告

○学習プログラムの開発

『新たな価値を発見し、地域復興を実現する力を育成する学習プログラム』（工業・商業連携）

○具体的・特徴的な実践内容 定量評価：レベル3以上が70%を目標値として設定

(ア) 関連付ける力

連携学習を通して、お互いの知識を共有し「地域再生」について考える力を身に付けるために、合同授業や、工業科の先生が商業科の生徒へ、商業科の先生が工業科の生徒へ専門的思考を高めるための連携授業を受けた。

工商が連携することで、新しい発見やお互いの専門的学習について知ることができ、連携して「地域のために何かしたい」と思う気持ちをさらに高めることができた。

＜生徒パフォーマンス評価＞



レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
学科間が連携して地域課題の解決策を見出し、実行することができる	学科間が連携して地域課題の解決策を発見することができる	学科間が連携して地域課題の解決に向けて考えることができる	他学科の学習内容に対して興味・関心が持てる
12.1%	52.1%	30.4%	5.4%

(イ) 人とつながる力

『地域とのつながり』に重点をおき、「おだか学び舎」の開校や、震災前、「まちをひかりでつなぐ」という目的で行われていたが、震災の影響で中断していた「おだかひかりのファンタジー」というイルミネーションイベントを復活させる活動など、交流の場を生み出すことで、「まちのにぎわい創出」につなげることができた。

＜生徒パフォーマンス評価＞

目標達成



レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
地域の方々と連携し、ともに地域課題解決に向けた取り組みができる	地域の方々から地域の情報を収集し、課題解決に向けたアイデアを提案することができる	地域の方々から地域の情報を収集し、課題発見ができる	地域の方々から地域の情報を収集できる
13.8%	58.7%	20.8%	6.7%

(ウ) 試す力

『試す力』についての学習では、「おだかよろず相談」プロジェクトを立ち上げた。これは、地域の方々が抱えるちょっとした困りごとといった生活の不便さを1つ1つクリアにすることで、地域課題の解決につながると考え、各科で学習したことを生かし、行政機関等と連携しながら取り組んだもので、これまで、まちのゴミステーション製造や特産品パンフレット制作、地元マスコットの金型を製造し、それを使ったパンの開発等、課題解決のため、工商が連携して取り組んだ。



＜生徒パフォーマンス評価＞

目標達成

レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
地域課題の解決に向け、工商が協力することの大切さ・重要性に気づくことができる	工商が協力し、地域課題の解決に向け、お互いに協力し、アイデアを考案することができる	工商が協力し、地域課題の解決に向け、協力してアイデアを考え、相互でアイデアを提案することができる	工商が協力し、地域課題の解決に向け、アイデアを創造し、形にした課題解決に向けた活動を行うことができる
17.0%	62.8%	19.9%	0.3%

○成果と改善の方向性

この3年間で少しずつではあるが、復興は進んだ。現在でも住民の帰還や風評被害など改善すべき課題は山積しており、まだまだ多くの手立てが必要だと考える。私たちは、「課題」が大変だからこそ、クロストレーニングプログラムで身に付けた「新たな価値を発見し、地域復興を実現する力」など、機会を捉えて発揮し、課題解決に向かってチャレンジしていくことが重要である。地域との連携では、様々な方々とのふれあいから、『相互理解』の大切さも学んだ。私たちと「地域との関わり」は、これからも続くので、この地で育った一人の人間として、地域の復興を担える人材になれるよう今後も継続して活動をしていく。